



# 箕面の明日へ

～みんなでワクワクする未来へ～

## まちづくりの 政策提案集

01 子育て・教育  
世界一のまちへ

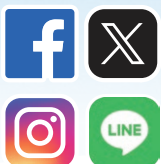
02 緑あふれる 突き抜ける  
ブランド力あるまちへ

03 便利で安心 歩いて  
どこでも行けるまちへ

無所属

37歳

# 原田りょう



## 理念

# 箕面を子育てや教育が世界一のまちへ。 緑あふれるブランド力ある憧れのまちへ!

いま箕面市は、住みたいと選ばれる魅力あるまちになっているだろうか？全国から注目されるようなまちになっているだろうか。…例えば子育てしやすさという観点では、最近では明石市が先進的なまちとして注目されています。しかし、私が箕面市議会議員時代、倉田哲郎前市長と一緒に箕面市政を進めていたときは、箕面市は子育て世代の流入数が関西一位と、子育てしやすいまちとして、箕面市の様々な施策が連日メディアで取り上げられていました。

どこの自治体にも先んじた施策、子どもの医療費助成の高校卒業までの拡大、電子黒板の設置やタブレットの配布、学校体育館のエアコン設置、防犯カメラの設置など、当時の箕面市は自治体のフロントランナーとして、ワクワクするような・まちが大きく発展するような施策を次々に打ち出していました。そして、倉田市政で実現した北大阪急行線延伸も、箕面市にとって大きな力となるはずですが、開業直後の現在はバス路線の一部に不具合もあり、経済効果についても十分に活かされてない状況です。本来なら、箕面市は、もっと誇れるまちとして、憧れられるまちとして、まだまだ伸びるポテンシャルを秘めているのにもったいない状態が続いています。

私は、箕面市が子育てや教育が世界一のまちへと生まれ変わり、全国から選ばれるまちにしたい。特定の政党ではなく、幅広い市民の皆さんの声をまちづくりにいかしたい。圧倒的な緑や住みやすさで箕面ブランドを確立し、住んでいて心から幸せだと感じられるワクワクするまちに。

箕面の明日へ。どうか皆さんの力を貸して下さい。

箕面の明日へ  
あなたの力を  
貸して下さい

原田りょう輝

YouTubeで  
原田りょうの想いを  
聞いてください! ▶





## プロフィール

# 原田りょう

## 37歳

昭和61年8月23日生まれ、妻と二児（長男、次男）の4人家族、  
私立智辯学園高等学校 卒業 大阪大学法学部法学科（政治専攻） 卒業

被災支援団体ACTION 代表（現在、防災士）  
衆議院議員事務所（兵庫6区 木挽司） 勤務  
箕面市議会議員（全国最年少25歳で当選、1期）  
大阪府議会議員（全国都道府県議会議員最年少28歳で当選、2期）  
（一社）箕面青年会議所 理事長  
箕面市ソフトボール協会 会長  
阪大ベンチャー ナノフoton（株） 参与などを歴任



## 政治家を目指したきっかけ

政治家を志したのは中学生のときでした。昔から正義感が強く、幼稚園のときの将来の夢は『正義のヒーロー』でした。ずっと正義のヒーローに憧れていましたが、子供心に「正義のヒーローという仕事はない」と気づき、中学生になったときに「世の中を良くする」政治家という仕事にその姿を見出したのが始まりです。そこから、大阪大学で政治を専攻しつつ、衆議院議員のもとで働きはじめ、政治家というビジョンが明確になりました。

そして、政治家としての目標を見出したのは、東日本大震災でした。発災して居ても立ってもいられず1か月後に現地入りし、がれき撤去や泥かき、被災された方々の慰問など様々な活動を行いました。

しかし、被害の大きさや範囲の広さから、個人の活動に限界を感じ、関西に戻って被災地支援団体「ACTION」を立ち上げました。翌月、支援が全然来ていなかった気仙沼市大島に阪大生100人を派遣するなど、現在までに500人以上の大学生を現地に派遣しました。その代表として、現地で何が求められているのか、被災された方々へ聞き取りを頻繁に行っていました。

その中で、ある方に託された言葉があります。それは、私の胸に深く刻まれました。「私たちはいいんです。まずは子どもたちを笑顔にする取り組みをしてください。子どもは希望がなくなった。その結果、子どもに笑顔がなくなり、大人に元気がなくなり、社会が暗くなった。あなたは、まずは子どもたちを笑顔にする活動を行って欲しい。」

(次ページにつづく)



当時、現在の小池都知事と



阪大生100人と気仙沼市大島で活動



新聞各紙に活動が取り上げられました

自分が何を目標とすべきか、そこまで定まっていなかったが、このとき、この言葉こそが天命であると、自らの政治生命に強く刻まれたのです。「自らではなく、まずは子ども」というその姿にも感銘を受け、その方が言われた言葉は箕面市でも日本中どこでも同じではないかと気付かされました。

現在、若い世代や子どもたちは、将来に対してただただ不安を抱えています。右肩下がり時代の続く中、今日より明日がよくなるという時代ではなくなりました。

さらに、世界最速で進む少子高齢化により維持できなくなっている社会保障制度、不安定な雇用体系、増え続ける国と地方の借金などの中で、将来結婚して家庭を持てるのか、働き続けることができるのか、年金はもらえるのかなど、不安は尽きず、将来に夢や希望を見いだせていません。

実際、厚生労働省の調査によると、半数近くの若者が日本の将来に不安を抱えています。また、大変由々しきことに、15歳～39歳の若者が亡くなる死因の一位が、他の先進国では「事故」なのに対し、日本ではなんと「自殺」なのです。私はこうした将来に夢や希望が抱けない社会を地域を、子どもたちに残したくありません。子どもたちが少しでも生きやすい社会・地域をつくること、それが今を生きる者の責任だと立ち上がりました。



## 全国最年少**25歳**の箕面市議会議員として

国から変えるべきか、地域から変えるべきか、そんなことを考えていた折、箕面市においては、就任当時 全国最年少**34歳**の若い倉田哲郎市長が誕生し、子育てしやすさ日本一を掲げ、様々な改革に取り組みられていました。

そんな若い倉田市長のいる箕面市であれば、子どもたちのために夢と希望あふれる将来を見据えた地域づくりができると思いました。だからこそ、倉田市長を支える議会にも、そういった市長の政策を一層推進させる若い人間が必要であると思い**25歳**で箕面市議会議員となりました。

その後は、倉田市長と若きタッグを組み、子育て支援の拡充、教育改革など徹底して取り組みました。あの頃、箕面は、住みよさランキングが年々上昇し、若い子育て世代が流入して人口も毎年千人規模で増加するような魅力的なまちになっていきました。





## 議員として

市議1期・府議2期の11年の議員経験と実績

# 皆さんのお力になりたい

その想いで、相談をいただいたらすぐ対応。子どもたちにも、高齢のかたにも、そして現役世代にも政治の目が行き届いていないところはたくさんあります。それを一つ一つ拾いあげ改善していくことが、地域の未来をつくっていく。その信念で、こまめに小さな声もお聞きして活動してきました。

### 例えば

## ① 子育てのことで悩んでいるのに、誰にも相談できない声を聞いて



実現!

もっと相談しやすい子ども家庭センターにするために、児童福祉司の増員とともに、箕面市への移転を目指す。池田子ども家庭センターの老朽化と狭隘化を議会で指摘し、更なる虐待対応強化のため早期の箕面市への移転を訴え続け、箕面市への早期移転が実現。萱野南図書館・教育センター跡地へ移転し、船場の新駅からすぐの好立地へ。十分な相談室や執務スペースが確保され、児童虐待対応強化とともに、安心して相談できる場ができました。

## ② 災害への対応・コロナ対応

地震で崩れた被災箇所を直して欲しい



実現!

全ての被災箇所をまわり、災害対策本部に声を届け、早期復旧を実現

避難所で足りていないものを届けてほしい



実現!

避難所で聞き取りを行い、行政に伝えて避難所の備蓄を拡充させる

コロナでお店が厳しいので使える補助金を教えてほしい



実現!

箕面市内のほぼ全ての飲食店をまわり、案内を手渡して補助金の説明を行い、一部の申請のお手伝いを実施

## ③ 地域の道路改善

危険箇所の安全対策をしてほしい



実現!

信号機の設置、街灯やガードレール・カーブミラーを設置、薄い白線の引き直し

溝が深くて子どもが自転車で落下したことがあるので、対策してほしい



実現!

歩道と溝の間に緑のポールを設置して落下対策を実現

バス停が道路にせり出していて、坂道なのに車のバスの追い抜きが危険



実現!

歩道を一部改良しバス停のバス停車スペースを確保

これからも皆さんに寄り添って、誰よりも身近で声の届くりーターになりたいと思っています。

# 小中学生、高校生、大学生の**教育**に携わって



大阪府議会議員を2期務めた後は、大阪大学や関西大学で政治の授業をさせていただき、政治学の研究にも取り組んできました。また、小学校や、中学、高校でも授業を行うなど学校教育にも携わり、箕面の子どもたちと直に接してきました。さらに、インターンシップという形で大学生を受け入れ、今まで100人以上の大学生が原田りょう事務所で学び、そのうち2人が議員になっています。



子どもたちが健やかに育っていくために、小中学校教育、高校教育、それぞれに力を注がなくてはなりませんし、また、若い新しい感性もまちづくりに反映していかなければなりません。

## ● 学生からのメッセージ

### 若者の代表として 箕面の新しいリーダーになってほしい！

原田りょうさんは市議会議員の頃から地域に密着した活動を続け、当時箕面一中に通っていた私は毎朝のように駅にいるりょうさんに元気よく送り出してもらい学校に向かっていくことを今でも覚えています。その後、私は憧れだったりょうさんの事務所でインターンシップを行い、たくさんのお話を教えてもらいました。また、実際に活動する姿を見て、りょうさんは市民と直接交流し、地元の声に耳を傾けてしっかりと市政に反映してくれる政治家だと感じました。りょうさんなら、箕面発展のため東奔西走し、より良い未来を作ってくれると思います。



神戸大学四年生  
西田 優希



## 経歴

# 阪大ベンチャー企業の役員として 海外企業とのM&Aに関わって

大阪府議会議員を2期務めた後は、大阪大学発のベンチャー企業で勤める。海外企業とのM&Aに関わらせていただくなど、様々な社会経験を積ませていただきました。働く中で、箕面市の施策や、大阪府や国の様々な支援が一般の中小企業にはなかなか届いていないという課題も痛感しました。また、複数の企業がコラボして新たなサービスを生み出す場面も目のあたりにし、ベンチャー同士の交流をもっと促進させることができれば、新たなビジネスマッチングが起きるのに、まだまだもったいない状況にあるといったことも現場で実感しました。

船場のベンチャー企業の皆さんと意見交換する機会も多く、船場地区は、大阪大学の近傍に位置しており、大学図書館もあって研究にも適しているということが、ベンチャー企業にとっては大変魅力的な環境であり、ベンチャー企業が集積するのにふさわしい環境であることも確信しました。

さらに、起業意識の高い阪大の学生たちと交流する中で、起業したくても様々なハードルがあり、若い世代の新しいチャレンジの後押しが十分できていない課題も受け止めました。

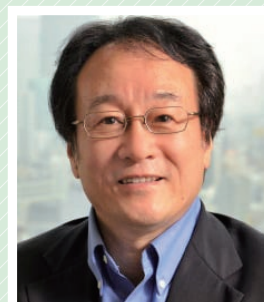
こうした社会経験もしっかりと市政運営、市役所経営に活かしていきます。また、母校である大阪大学としっかり連携していることも原田りょうの強みです。大阪大学と箕面市の連携を深めていきます。



## ● 阪大ベンチャー企業ナノフoton (株) CEO 兼 大阪大学名誉教授メッセージ

### 箕面の未来を若者に任せたい

阪大発ベンチャー、ナノフoton (株) は阪大キャンパスに生まれて、3年前に箕面船場に移転してきました。箕面は緑が溢れる住宅地であり、学生や若者が多く住む街です。大学発ベンチャーにとっては、最高の地です。原田さんは当社で参与として一年以上働き、企画、広報、渉外等を担当し、海外企業との30億円規模のM&Aにも関わってくれました。ネットワークを構築し、新しい時代の企業文化を経験しました。箕面を若返らせて新たな箕面の未来を創造するために、誠実で知的で行動力のある若者のリーダー、原田さんに期待しています。



阪大ベンチャー企業  
ナノフoton (株) CEO  
兼 大阪大学名誉教授

河田 聡

## 箕面市は、緑豊かで最先端。

私はもともと堺市生まれ、和歌山育ちです。父の仕事の関係で、子どものころは何度も引越しをしました。大学生になり、大阪大学に通うために箕面市で下宿を始めたのが箕面との出会いです。以来、約20年をこの箕面で過ごしています。

思えば、25歳で政治の道を歩み始めたとき、生まれ育った場所ではなく、箕面市で議員になることを選んだのは、この箕面市に惚れ込んだからでした。

私は、いろいろなまちに住んできたからこそ、この箕面市がどんなに優れたまちであるか、他市から憧れられるまちであるか、そして、いかに可能性の高いまちであるかを知っています。

箕面市には、箕面大瀧を擁する国定公園があり、桜通りなど特徴的な景観もあります。大都市圏ながら美しい田園風景もあり、北に連なる山なみは巡る季節を彩ってくれます。大阪という大都市圏の利便性を享受しながらも、潤沢な自然に恵まれた、周囲に羨ましがられる住宅都市。そして、そこに住む人たちは、この街と同じく、穏やかで、礼儀正しく、教育熱心で、品もあり、優しく温かい。

私は、これほど環境・立地に恵まれた都市は、この日本でも珍しいと考えています。この恵まれた地域環境は、そこに住む人が幸せを感じることでできる、日本の未来を示すまちづくりのできる環境でもあります。

幅広い世代のお困りごとを一つ一つ解決し、また、一人一人に届く教育と福祉を充足させ、お住まいのかたがたの日々の生活に充足感をもたらす。ここに住んでいてよかった、そう思えるまちづくりができれば、それは、子どもたちにとっても未来への夢と希望を憂いなく感じることでできる地域社会でもあるはずです。

もしも箕面でできないならば、他所では絶対にできません。そのぐらい箕面市は強い可能性のあるまちなのです。

この大好きなまち箕面市は、「大阪府内で注目される」ぐらいに止まる程度のものではありません。日本中で注目され、世界からも注目されるブランド力のあるまちになれると確信しています。

私の拙い経験とそれを補えるだけの行動力、そして未来志向の信念にご期待いただき、どうか箕面市の未来志向のまちづくりの一端を、私に担わせていただきたいと切に希求しています。



PHOTO: 箕面の滝



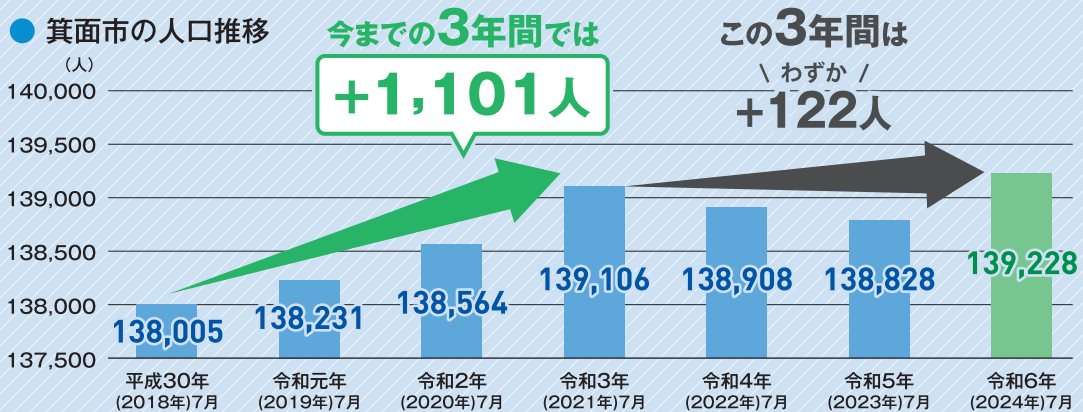


37歳の若い力でチェンジ!

# 箕面市はもっと発展できる!! もったいない箕面市の現状!

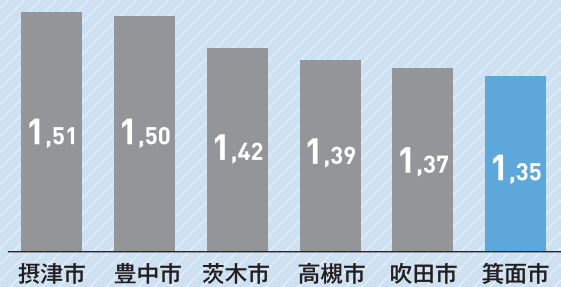
## 1 北大阪急行線が延伸されて直近の3年間で 122人しか人口が増えていない

出典：箕面市HPより



## 2 合計特殊出生率が 近隣よりも低く、子どもが 生みにくいまちに なっています

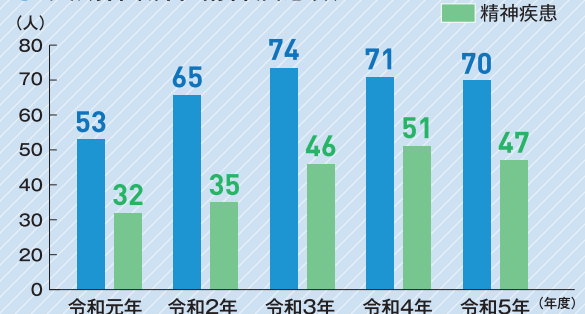
### ● 合計特殊出生率(2022年)



出典：厚生労働省 令和6年人口動態統計特殊報告

## 3 箕面市職員の長期休職者・ 精神疾患が増えていて、 箕面市役所のマンパワーを 十分に活用できていません

### ● 長期休職者・精神疾患数



出典：令和6年箕面市議会議事録

# 01 子育て・教育 世界一のまちへ

1

**真に使える子育て支援策の拡充を徹底**  
 学校給食無償化と質の向上、オムツの定期宅配、  
 妊婦や子育て世代の家事や育児を支援するヘル  
 パー派遣など、真に使い勝手の良い子育て支援  
 を実現し、若い子育て世代を呼び込み活気ある  
 箕面へ



2

**真の待機児童ゼロへ**

保育園に行かない世帯も含め、すべての子育て  
 世代が預けられる一時保育・病児保育の整備と、  
 保育士の確保を通じていつでも断られない保育  
 園・学童保育の実現で真の待機児童ゼロへ



3

**体力向上・健康寿命の延伸**

新たなスポーツ施設の創設や屋内・屋外プールの整備で、子どもから高齢者まで体力向上・  
 健康寿命の延伸

4

**時代にあった教育改革の徹底**

塾代バウチャー（習いごと代補助）、ICT教育・プログラミング教育の強化、国際交流の促進  
 や真に使える英語教育を実施するなど、徹底した教育改革

5

**大阪大学のリソースをまちづくりに活かす**

市役所と大阪大学の連携を加速させ、大阪大学の知見を箕面の教育や行政に活かし、箕面  
 の教育や市役所をアップグレード



## 原田りょうの想い

箕面は、古くから府内随一の教育水準を誇るまちです。また、数年前まで子育て世代の流入数が関西一位を誇るほど、子育て環境の充実したまちでした。箕面が元来有する子育て・教育環境、そして生涯学習も含めた教育面の強みを徹底して伸ばせば、改めて箕面は世界に冠たる文教都市、世界に誇れる子育て・教育のまちになることができます。

少子高齢化が進みがちな住宅都市にとって、高齢世代をしっかりと支えられるための「世代構成バランス」は極めて重要です。箕面市が世界に冠する子育て・教育のまちになることは、子育て世代の流入を促進し、箕面市を持続的に発展し続けるまちにすることでもあります。

子どもたちが笑顔で健やかに成長するためにも、また、子育て世代が安心して子育ても仕事も両立するためにも、さらに、将来にわたり箕面市が持続的に市民サービスを拡充し続けられるまちであるためにも、子育て・教育に力を注ぐことが不可欠です。



### 原田りょうへの質問



**Q** 給食の無償化やオムツの定期宅配、塾代助成など、実現できたらとてもありがたいのですが、結局増税するなら負担が上がるので、増税するのはやめてほしいです。



**A** **増税せずにできます。**箕面市の財政経営室とも打ち合わせしながら、十分現在の財政状況でできることは確認しています。例えば、阪大跡地の活用で70年間で約700億円の賃料収入が入ってきます。財政改革をするのは当然として、そうした新たな財源も活用しながら、市民の皆さんの負担を上げずに工夫しながら様々な施策を進めていきます。



**Q** 箕面の子育て支援策はどこの市でもされていて、最近是他市に比べて子育てしやすいまちになっていないと思います。本当に助かる支援策を進めてもらえませんか？



**A** 過去は、他市より優れていた箕面市の子育て施策も、この間、他市も子育て支援を拡充してきたので、今では箕面市独自の施策が少なくなっているのは事実です。私も二人の子どもを育てている子育て世代であり、今回、ママ友・パパ友からたくさんの声を聞きました。その中で、「オムツを買いに行くのが大変で、お金もかかる」「家事が追いつかないので手伝って欲しい」「中高生向けの子育て支援策が少ない」という声を聞き、政策に反映させました。今後も当事者目線の子育て支援の拡充を進めます！

# 02 緑あふれる 突き抜ける ブランド力あるまちへ

## 1 緑あふれる住宅都市のブランド化

桜の木をはじめ特長ある景観の増進、農業支援による農地の保全など、**圧倒的な都市緑化**により住宅都市としてのブランド価値を高める

## 2 憧れの阪急沿線という西部地区の再ブランディング

箕面の西の玄関口としてふさわしい**箕面駅・桜井駅前ロータリーの再改修**、**みのおサンプラザ1号館**建て替えによる活性化で、箕面発展の礎である西部地区を再ブランディング



何もなくなった箕面駅前ロータリー

## 3 文化・芸術・スポーツのまちのブランド化

市内の公共施設各所で文化・芸術作品の展示・上映・演奏を行う。また、サントリーサンバースやガンバ大阪など地元スポーツチームと連携を強め、「文化・芸術・スポーツのまち箕面」のブランド化

## 4 健康長寿のまちのブランド化

生活習慣病予防・介護予防で、健康で長生きできる「健康長寿のまち箕面」のブランド化

## 5 安心安全なまちのブランド化

振り込め詐欺など特殊詐欺対策を徹底し、犯罪発生率を大阪府内の市で最小化して「安心安全なまち箕面」のブランド化



## 原田りょうの想い

いま、都市のなかの緑の価値が見直されています。ニューヨークのセントラルパーク然り、うめきた2期に整備予定の「グラングリーン大阪」然り。しかし箕面では、もっともっと以前から、まちを形づくる要素として「緑」が大切にされてきました。北側には四季折々に姿を変える箕面の山なみが、街中には都心部で見ることのできない田園風景が、街角には桜並木や街路樹、親水公園で川のせせらぎを見守るのも豊かな緑です。

いま、都市の緑としてクローズアップされがちなのは、従来からのCO<sub>2</sub>削減や空気浄化、さらに近年のクールスポット創出による熱中症対策ですが、それだけでなく「緑」には人を和ませる力があります。

都心部には決して真似することのできない圧倒的な「緑」による差別化を。そして、憧れの阪急沿線ブランドも活かし、教育・文化水準の高さ、健康寿命の長さ、犯罪発生率の低さなど、箕面の強みを徹底的に伸ばし、まずは住民自身が満足感・充足感を感じられるまちをめざします。さらに、それらを強く発信し、誇れるまち、憧れられるまちとして、箕面の突き抜けたブランド力を構築します。



### 原田りょうへの質問



**Q** 原田さんは若いので、子育てや教育ばかりな気がする。高齢者に向けた政策も進めて欲しい。



**A** 実は、箕面市の平均寿命は近畿1位だったことがあるくらい、全国でも長いんです。ご高齢の方々の健康寿命をさらに伸ばして、健康長寿のまち箕面と呼ばれるようにしていきたいです。そのために、高齢者の皆さんの予防医療や、外出しやすくなるようにオレンジゆずるバスを増やすこと、お年寄りの被害が多い振り込め詐欺を防いだり、屋内プールを整備するなど、**健康で長生きできるまちづくりをしっかりと進めます!**



**Q** 緑を増やしてほしいけど、草木の伐採や掃除などの手入れが行き届いてなくて、家の近くの木の管理が大変。あと、個人的に牧落駅の近くに住んでいるのだけど、コンビニがなくなって不便。



**A** 議員として最も多く相談が寄せられるのが、草木の剪定でした。現在の街路樹の維持管理は圧倒的に頻度が足りていません。その頻度は増やしていきます。一方で、市民の皆さんのご協力もいただかなくては限られた財源の中で維持することは難しいのも事実ですので、引き続きお力をお貸しいただけると幸いです。牧落駅のコンビニ誘致はしっかりと進めていきます。

# 03 便利で安心 歩いてどこでも行けるまちへ

## 1 バス路線網の拡充とバス路線の再検証→最適化

オレンジゆずるバスを拡充させるとともに、新駅によるバス路線再編で生じた不便さを検証・最適化し、使い勝手の良いバス移動へ

## 2 交通格差の解消

グリーンロードの料金値下げの実現や定期券の検討、国文都市4号線の早期整備で彩都から箕面萱野駅へのアクセス向上など、彩都や止々呂美・箕面森町のアクセス向上で交通格差の解消へ

## 3 バス路線網から漏れた地域も アクセス改善

バス路線網から外れた地域に、AIオンデマンドバス（※路線や時刻表がなく、AIにより最適な経路を設定し、利用者が事前に乗りたい場所や時間を予約して、相乗りで利用するバス）を配置し、市内くまなく交通アクセス改善へ



原田りょうが豊能町で実現した  
AI オンデマンド交通 HANI+

## 4 災害に強いまち箕面をつくる

災害に強いまちづくりを進め、高齢者や障害者が取り残されない、災害が起こってもすぐに復旧する災害に強い箕面へ

## 5 障害のある方々と共生のまちづくり

障害のある方々の働く場所の確保、支援学校卒業後も安心して活動できる場づくりで、障害のある方々と共生のまちづくり

## 原田りょうの想い

新駅が開業し大阪都心部へのアクセスが大きく変化しましたが、箕面市内の交通利便性には、まだまだ地域によって大きな格差があります。もちろん車があればどこへでも行けますが、車に乗れない人の移動、車に乗るほどでもない移動など、日々の暮らしでは多様な選択肢が求められます。そして、坂（斜面）が障害になっている地域、道の狭さが障害になっている地域、山がアクセスを阻んでいる地域、車は良くても人が歩きにくい場所、自転車が通りにくい場所など、個々のニーズにあわせてきめ細かな対応が必要です。

交通アクセスは、人の暮らしや健康寿命を左右するだけでなく、地価・家賃をはじめ地域の価値そのものも左右します。箕面市が、子どもから高齢者まで豊かに暮らせるまちになるためには、車だけでなく、歩行者が多様で便利なアクセス手段を持てるまちをめざす必要があるのです。

バスなど従来型の公共交通の拡充に加え、AIオンデマンドなど新たな手法も活用しつつ、歩道・自転車道の整備など歩行者優先のまちづくりを進めることで、箕面が「歩いてどこでも行けるまち」となることをめざします。



### 原田りょうへの質問



**Q** 北大阪急行線延伸で便利になると思っていたバス路線が不便になりました。ゆずるバスは本数もなく、移動時間がかかり過ぎて使いにくいです。バス路線はなんとかならないでしょうか？



**A** オレンジゆずるバスの台数を増やし、東西からのルート増やします。財源の算出もしており、税金を上げなくても十分できます。それに伴い、すべてのバス路線網を再検証して、効率よく便利なバス路線に再編します。ご高齢の皆さんが心置きなく免許返納していただけるように、そして、渋滞対策や環境対策にも寄与するので、公共交通を拡充させ、車に乗らなくてもどこへでも気軽に行けるまちにしていきたいと考えています。



**Q** 箕面森町に住んでいます。グリーンロードの料金値下げをしてほしいです。グリーンロードは生活道でありながら、高く使うのをためらいます。子どもを萱野駅まで送り迎えするだけで往復で840円もかかってしまいます。



**A** まずはNEXCO西日本への移管実現を強く働きかけ、対距離料金制度で今より数十円の値下げが実現します。一方で、移管がなかなか進んでいない状況もあるので、市の独自財源での値下げや、定期券の検討を進めます。これは、4年の任期の間にも必ず実現したいと考えています。市内あまねく交通格差の解消を進めます。



# 01 まちの魅力を最大化し 憧れられる新たなまちづくり

この3年間で増えた箕面市の人口はわずか122人。北大阪急行線延伸という明るいニュースが既に周知されている中で、箕面市が選ばれるまちになっていないもったいない状況が続いています。北大阪急行線と連携を取りながら、延伸の恩恵を十分に還元できるように、新たなまちづくりの効果を最大限活かしていきます。



## 1 船場を箕面発展のエンジンへ

船場地区にベンチャー企業を誘致するとともに、起業支援を行い産業集積拠点へ。  
また、移転後の新市立病院が引き続き安心・安全で質の高い医療が提供されるように進める



## 2 萱野を子育て世代の集うまちへ

萱野地区に魅力的な店舗を呼び込むとともに、子育て世代が集う場づくりを進めて地域経済活性化

## 3 渋滞対策の徹底など、地域に理解される開発へ

粟生間谷地区の面整備に伴う人口増加を見越し、モノレール川合駅の実現や大型商業施設による渋滞対策を進める

## 4 オールドタウン対策を徹底し、持続的に人口流入するニュータウンへ

彩都、箕面森町は交番設置や新たな医療機関・商業施設の誘致を進め、箕面の顔となるニュータウンへ

## 5 小野原の憧れられるおしゃれなまちという魅力を磨く

さらなる電柱の地中化や歩道の整備、緑の整備を進めて「おしゃれなまち小野原」の確立

## 原田りょうへの質問



**Q** 箕面萱野駅や箕面駅周辺に、茨木市の「おにクル」のような屋内型の子育て施設を作ってほしい。この暑さで子どもたちを外で遊ばせることが難しいですし、雨の日に民間の室内遊び場に行くのですが、とても高いです。



**A** こちらは、ぜひ整備を進めていきます。幼少期の運動習慣が、運動神経の発達や大人になったときに良い影響をもたらす(医療費・介護費の削減など)のは証明されているので、幼少期の教育や運動への支援は投資効果が高いと思っていますので、実現できるように進めます。



**Q** 子育ても重要だと思いますが、私のように独身で過ごす「おひとりさま」も多くなっています。私自身、高齢者の孤独死などのニュースを見て不安に感じるのですが、年長いても安心して住める箕面市にして欲しいのですが、何か取り組みはありますか？



**A** 高齢の皆さんの地域の居場所作りや活躍できる場作りを進めます。コミセンや生涯学習センター、学校や農業など、様々な場で交流する機会を作ります。具体的には、地域の小学生や中学生、高校生、そして阪大生たちとの交流を進めたり、学校の文化祭に招待するなど世代間交流イベントを開催します。



**Q** サッカーをしているのですが、グラウンドがなかなか取れず、練習する場所がなくて困っています。同じ話を友達の野球チームからも聞きました。なんとかしてもらえないでしょうか？



**A** 私も箕面市ソフトボール協会の会長を務めているので、箕面市に運動する場所が足りていないことは課題として認識しています。実際に、箕面市体育連盟の皆さんからも同様の要望が出ています。倉田前市長の時代に、阪大の跡地にそのような施設を作ることになっていたのですが、それがなくなってしまいました。箕面の子どもたちは体力に課題がありますし、ご高齢の皆さんの運動の場の確保のためにも、身近に運動できるスポーツ施設の創設を進めます。



**Q** 新しいまちづくりも良いけど、既存のまちづくりもしっかりやって欲しい。地域に元気がなくなってきています。



**A** おっしゃる通りです。「憧れの阪急沿線をもう一度」という想いで、西部地区を再ブランディングし、憧れられるまちへと再び取り組みを進めます。また、粟生間谷の面整備が円滑に進むよう尽力します。さらに、小野原のまちを閑静な住宅街としてさらに磨きをかけ、ゆずるバスを増やして利便性を向上させるとともに、「おしゃれなまち小野原」としてブランド化します。

# 02 開かれた市役所で 市民の声を活かすまちづくり

箕面市役所の優秀な職員の離職、長期の休職者、精神疾患が増えています。箕面市役所がまずは機能する組織へと変わり、そのパフォーマンスを十二分に発揮することで、前述の政策も実現することができます。市長が率先垂範で市民の皆さんのもとへ赴き、声を聞くとともに、今後は職員の皆さんと密にコミュニケーションを取りながら、課題の早期発見を進めます。



## 1 声の届く身近なリーダーへ

毎月、市役所や各校区で「市長と話す会」を開催。  
常に開かれた市役所、みんなの声を聞く身近な市長へ



## 2 組織改革で市役所の力を120%引き出す

市役所職員は人財。職員の育成や働き方改革を進めて離職率を低下させるとともに、民間人材の積極的登用・女性活躍推進を実現

## 3 最新技術を積極的に取り入れ効率化を徹底

ChatGPTをフル活用させ、AIのできる業務は徹底的に代替し市役所を効率化させ、時間外労働・人件費の縮減を大胆に進める

## 4 市長は市民評価型給料の導入

市長の給料は市の業績に応じて市民が決める市民評価型給料の導入。  
実績が出なければ市長給料を減額

## 5 クリーンでオープンな市政へ

SNSを駆使して市政の情報発信を徹底的に行うとともに、市長への寄付や献金は1円からすべて公開するなど、クリーンでオープンな市政を実現



## 原田りょうへの質問



**Q** 市役所職員です。今、まわりがどんどん市役所を辞めて民間にいています。長期休職者も増え、働きにくい環境になっているので私も転職を考えています。今の市役所をどうかしてほしいです。



**A** 今までの市役所改革は、「公務員の給与削減」「給与制度改革」など、待遇に切り込むことが是とされてきましたが、今の時代、民間はどこも人手不足。転職市場は活況で人を取り合うような状況になっている中で、職員さんを大切にしなければ、人材が流出してしまうのは当たり前。今回の公約を実現するためにも、市役所の職員さんが働きやすい環境づくりにまずは着手して、市役所が120%のパフォーマンスを発揮できるようにします。



**Q** 箕面市の広報を全然見たことがありません。石丸伸二 前安芸高田市市長は一長一短あるかもしれませんが、市民が市政に注目するようになったことや、人口3万人ほどの小さな市の名前を全国に知らしめた発信力はすごいと思います。箕面市ももっとSNSの発信に力を入れるべきではないでしょうか？



**A** おっしゃるとおりです。SNSは無料で使えて、宣伝効果が高いです。まずは、YouTube、Xなど主要なSNSのフォロワーを増やすような魅力的な発信（例えば、箕面市の飲食店や観光スポット、面白い人など）を継続して実施して、箕面市のPRに全力で取り組んでいきます。また、災害時やパンデミックなどの緊急時における迅速な発信を市長自らしっかりと行っていきます。



**Q** 原田さんの政策に市長の退職金ゼロがないのですが、また退職金を復活させるのでしょうか？



**A** 今既に退職金がゼロになっている中で、それを復活させることはありません。私はそれに加えてさらに、市長の給料が市の業績や市民の皆さんの満足度によって変動する市民評価型給料を導入します。市民アンケートを実施して定期的に声を聞くとともに、常に市民の皆さんから評価されているという意識と強い責任感を持って箕面市を発展させます。



**Q** 原田さんの政策には観光がないのだけど、観光には力を入れないのでしょうか？また、箕面駅前ロータリーがアスファルトだけのバス駐車場はやめてほしい。そもそも普段から全然停まっています。あと、キラキラしたLEDを年中つけるのも、あまり品がないのでやめてもらえませんか？



**A** 箕面の滝というキラーコンテンツを抱える箕面市において、それを生かさない手はありません。例えば、私の市議会議員時代からのミッションとして、**滝道沿いのシャッターが閉まっているお店を開けて、若い意欲ある人たちに貸し出して、魅力ある店舗が年中開いている状態をつくりたいと考えています。**また、箕面の一等地であり、箕面の玄関口である駅前ロータリーが稼働していないバス駐車場であるのは大きな損失です。駅前を、人が集う、思わず写真を撮りたくなるような緑あふれる素敵な場所にしたいと考えています。一方で、箕面は住宅都市ですので、インバウンド（訪日外国人観光客）を市街地に闇雲に拡大させるべきでないと考えています。住宅と観光地の棲み分けを行い、観光資源の周辺商業に局地的に観光効果をもたらすよう配慮していきます。

まとめ

## 原田りょうは 市民ファーストで臨むため、 無所属でチャレンジします

実は、全国の市長の99%は無所属です。

多様な政党の議員がいて多様な市民の民意を反映する議会と異なり、市長は一人で多様な市民の民意を反映する必要があるため、政党に属さずに無所属となって、幅広い市民の声を聞く必要があると考えています。

このため、原田りょうは長年所属していた政党からも離党し、無所属になりました。

政党に左右されることなく、真に市民の皆さんのためになる施策を進める、市民ファーストの信念でチャレンジします。

ぜひとも、原田りょうへ耳の痛い声も含めてたくさんの声を聞かせてください。

原田りょうは、毎月市民の皆さんと話す会を開催し、皆さんの声をまちづくりにしっかりと活かしていきます。みんなでワクワクする箕面の明日を一緒に創りましょう！

皆さまの

## 声を聞かせてください

皆さんのお声をLINEやメール、FAXで聞かせてください！

一つ一つの皆さんの想いを、箕面市に反映したいと思っています。

今回の政策集も、たくさんの市民の皆さんの声を反映して創り上げました。

まだまだ発展の途中。今後もどんどんブラッシュアップさせて

より良い市政を皆さんと一緒に創っていきます。

これからも、原田りょうは皆さんの身近な政治家でありたいです。

引き続き、ご指導・ご意見よろしくお願い致します。

最後までお読みいただきありがとうございました！

原田りょう 拜



いつでもお越しください。/ 箕面の明日へ 事務局 箕面市西宿1-1-7(萱野交差点すぐ)

あなたが主役!

皆さんの声を原田りょうに届けてください

TEL.072-729-8585  info@haradaryo.net

※いただいた声や個人情報は事務局で厳重に管理し、目的以外一切使用いたしません。

